

自然と文化で創る未来～守り・繋ぎ・活きる島 石垣～

沖縄県石垣市（2020年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標

日本最南西端の市であり、人口は約5万人である。第3次産業（観光を中心とするサービス業）が全体の4分の3近くを占め、増加傾向にある一方、第1次産業・第2次産業の就業者数は減少している。広大な海に囲まれ、陸域・海域ともに貴重な野生生物が多く、世界有数の美しい自然を有する。課題としては、外国人を含む移住者やIターンの増加により、思考様式や行動背景の異なる人々が島内に共生していることが挙げられる。各々の生活様式を含めた社会構造が多層化する中で、SDGsという共通言語を用い、「誰一人取り残さない」社会の実現を目指す。

2. 関連するゴール



3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)

統合的取組事業として、地域における社会課題をSDGsというツールを用いて解決していくしがきSDGs推進プラットフォームを構築。多様な主体の存在する石垣市において全てのステークホルダーに配慮した最適解を導出するとともに、多層化しがちな各主体を包摂的に地域社会に取り込んでいく。

4. 自治体SDGs推進等に向けた取組

◆ いしがきSDGs推進プラットフォームの構築

石垣市内でSDGs活動に取り組む企業や団体等の情報提供の場として、「いしがきSDGs推進プラットフォームWebサイト」を構築。同プラットフォームでは、会員同士の情報共有の場の提供や、会員以外の市民や事業者・団体に対しても情報を発信し、SDGsの普及啓発に努めた。

◆ 普及啓発

市内の高校で「SDGs出前講座」及びカードゲーム「SDGs de 地方創生ゲーム」を実施したほか、家庭でできるSDGsについて考える機会を与える「SDGs親子講座」を開催し、普及啓発を図った。

5. 取組推進の工夫

各種計画へSDGsを反映させるとともに、各課で取り組む事業においてSDGsを意識して遂行している。

6. 取組成果

◆ いしがきSDGs推進プラットフォーム

令和5年6月1日に「いしがきSDGs推進プラットフォーム」を開設し、2023年度末時点で19団体が登録。

◆ SDGs出前講座・カードゲーム

市内高校への出前講座は講師を派遣し、学生の特性に合わせた講義を行った。親子講座では参加者の9割以上が講座をきっかけにライフスタイルを変えていきたいと回答し、市民の意識改革につながった。

出前講座 受講者数：184名

カードゲーム 参加者数：34名

7. 今後の展開策

日常的な活動に対してSDGsという評価指標を追加し、サプライチェーン全体へ広げていくことを目指し、本市に適したSDGs認証制度の構築を進める。ブルーカーボン・オフセット制度、包括的貧困削減対策事業についても検討を進めていく。

8. 他地域への展開状況 (普及効果)

いしがきSDGs推進プラットフォームを公開し、SDGsの取組等の情報発信を行っている。
県外大学とのヒアリング（1件）、行政視察（1件）、県外大学からの講演依頼（1件）

SDGs未来都市等進捗評価結果報告シート

2020年度選定

沖縄県石垣市

2024年9月

SDGs未来都市計画名	石垣市SDGs未来都市計画
自治体SDGsモデル事業 又は特に注力する先導的取組	自然と文化で創る未来 ～守り・繋ぎ・生きる島 石垣～ 石垣SDGsプラットフォームを活用した「離島におけるSDGs 解決モデル（＝石垣SDGsモデル）」構築事業

沖縄県石垣市 第 1 期 S D G s 未来都市計画：計画期間2020年～2022年

（１）2030年のあるべき姿の実現へ向けた取組の達成状況

No	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2022年	2030年（目標値）	達成度 （％）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	全事業所数に対する石垣SDGs認証を取得する事業所数の割合【8.2】	2020年2月 0 %	2022年度 0 %	2030年 10 %	0%	目標達成度は低いが運用等について検討を進めており、第2期計画ではKPIを見直し、目標達成へ向け取り組みを行う予定。
2	従業者数【8.5、8.6】	2016年6月 19,879 人	2021年 19,177 人	2030年 23,111 人	-22%	目標達成度は低いが、コロナ禍前の経済状況への回復が見込まれるため、第2期計画でも引き続き取組を推進していく。
3	農産物の生産額【2.3、2.4】	2016年度 3,003 百万円	2022年度 3,182 百万円	2030年 3,735 百万円	24%	目標達成度は低いが、寒冷及び長雨の影響で減産となっており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
4	石垣市とSDGsの取り組みを通して繋がった国の数【17.7】	2020年2月 3 ケ国	2022年度 10 ケ国	2030年 30 ケ国	26%	目標達成度は低いが、2022年までの短期目標は達成しており、また、コロナ禍の影響が減少しているため、第2期計画でも取組を推進していく。
5	SDGsをテーマとして開催される会議数【16.6、16.7】	2020年度 14 件	2022年度 13 件	2030年 24 件	-10%	目標達成度は低いが、コロナ禍の影響が減少してきているため、第2期計画でも引き続き取り組みを推進していく。
6	石垣市が主催する初等中等教育の拡充に資するプログラム受講者のうち就業に至った人数【4.4】	2020年2月 23 人	2022年度 17 人	2030年 35 人	-50%	受講者数の減少がみられたため、第2期計画では目標達成に向けて安定的な講座の継続を行いながら、周知・普及の推進を行っていく。
7	文化保全教育プログラムの作成・実施数【4.3】	2020年2月 13 件	2022年度 27 件	2030年 15 件	700%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
8	総人口に占める公共交通域内人口の割合【9.1、11.2】	2020年2月 63.6 %	2022年度 データなし	2030年 90 %	データなし	数値の算出が難しく、データなしとしている。第2期計画では正確な数値を把握できるよう調整していく。
9	女性コミュニティによるSDGs関連活動の参加者数【5.1、5.4、5.5、5.6】	2020年2月 200 人	2022年度 0 人	2030年 1,200 人	-20%	隔年開催のため、0人となっている。第2期計画ではKPIを見直し、引き続き取り組みを行っていく。
10	在留外国人と地域住民との意見交換会の実施回数【10.2、10.3、10.4】	2020年2月 2 回	2022年度 1 回	2030年 6 回	-25%	目標達成度は低いが、コロナ禍の影響が減少しているため、第2期計画でも取組を推進していく。
11	金融教育を受けた貧困・生活困窮者の人数【1.2】	2020年2月 0 人	2022年度 2 人	2030年 30 人	7%	目標達成度が低く、第2期計画では見直し、別の手法により推進を図る予定。
12	赤土流出防止対策の実施延長【14.4】	2020年2月 3,898 m	2022年度 5,257 m	2030年 400 m	1314%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
13	サンゴ保全教育を実施した学校数【14.4】	2020年2月 8 校	2022年度 8 校	2030年 24 校	0%	当初値から増加しておらず、第2期計画では実施体制を構築するなどして、取り組みを推進する。
14	資源ごみ（ペットボトル・キャップ、発砲スチロール、容器プラ）の回収量【12.4】	2019年4月 780.98 トン	2022年度 844.95 トン	2030年 780 トン	108%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
15	漂着ごみ回収活動の実施回数【12.8】	2019年3月 306 回	2022年度 511 回	2030年 300 回	170%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
16	漂着ごみ回収活動の参加人数【12.8】	2019年3月 4,253 人	2022年度 6,560 人	2030年 4,200 人	156%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
17	住民 1 人 1 日当たりのごみ排出量（生活系ごみ）【12.2、12.5】	2017年4月 671 g	2022年度 724 g	2030年 641 g	88%	当初値より増加しており、第2期計画では3R推進のため周知を行い、目標達成に向け推進を図る予定。
18	事業系ごみの排出量【12.2、12.5】	2020年2月 11,512 トン	2022年度 9,019 トン	2030年 13,373 トン	148%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
19	C O 2排出量【7.2、7.3、13.1】	2016年10月 40.5 万 t -CO2	2022年度 32.9 万 t -CO2	2030年 30.0 万 t -CO2	72%	順調に進捗しており、引き続き第2期計画でも進捗を確認していく。

2020年度

第 1 期SDGs未来都市計画（2020～2022）の進捗評価結果報告シート（様式3-2）

沖縄県石垣市

第 1 期 S D G s 未来都市計画：計画期間2020年～2022年

（２）自治体SDGsの推進に資する取組の達成状況

No	取組名	指標名	当初値	2022年実績	2022年目標値	達成度（%）	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
1	自然資源を活用した持続可能な観光のもと、地域の産業（農業・水産業等）の成長を促進し収益を拡大させる	全事業所数に対する石垣 S D G s 認証を取得する事業所数の割合	2020年2月0 %	2022年0 %	2022年3 %	0%	目標達成度は低いが運用等について検討を進めており、第2期計画ではKPIを見直し、目標達成へ向け取り組みを行う予定。
2	自然資源を活用した持続可能な観光のもと、地域の産業（農業・水産業等）の成長を促進し収益を拡大させる	従業者数	2016年6月19,879 人	2022年19,177 人	2022年21,261 人	-51%	目標達成度は低いが、コロナ禍前の経済状況への回復が見込まれるため、第2期計画でも引き続き取組を推進していく。
3	自然資源を活用した持続可能な観光のもと、地域の産業（農業・水産業等）の成長を促進し収益を拡大させる	農産物の生産額	2016年度3,003 百万円	2022年3,182 百万円	2022年3,237 百万円	76%	目標達成には至らなかったが、寒冷及び長雨の影響で減産となっており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
4	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	石垣市が主催する初等中等教育の拡充に資するプログラム受講者のうち就業に至った人数	2020年2月23 人	2022年17 人	2022年27 人	-150%	受講者数の減少がみられたため、第2期計画では目標達成に向けて安定的な講座の継続を行いながら、周知・普及の推進を行っていく。
5	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	文化保全教育プログラムの作成・実施数	2020年2月13 件	2022年27 件	2022年15 件	700%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
6	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	総人口に占める公共交通域内人口の割合	2020年2月63.6 %	2022年データなし	2022年68.9 %	データなし	数値の算出が難しく、データなしとしている。第2期計画では正確な数値を把握できるよう調整していく。
7	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	女性コミュニティによる S D G s 関連活動の参加者数	2020年2月200 人	2022年0 人	2022年400 人	-100%	隔年開催のため、0人となっている。第2期計画ではKPIを見直し、引き続き取り組みを行っていく。
8	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	在留外国人と地域住民との意見交換会の実施回数	2020年2月2 回	2022年1 回	2022年3 回	-100%	目標達成度が低いため、KPIを見直し、第2期計画でも取組を推進していく。
9	島の自然環境や文化をまもりながら、誰一人取り残さず、全ての人が安心・安全・いきいきと住み続けられるまちとする	金融教育を受けた貧困・生活困窮者の人数	2020年2月0 人	2022年2 人	2022年16 人	13%	目標達成度が低く、第2期計画では見直し、別の手法により推進を図る予定。
10	自然資源を活用した持続可能なかつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	赤土流出防止対策の実施延長	2020年2月3,898 m	2022年5,257 m	2022年3,000 m	175%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
11	自然資源を活用した持続可能なかつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	サンゴ保全教育を実施した学校数	2020年2月8 校	2022年8 校	2022年11 校	0%	当初値から増加しておらず、第2期計画では実施体制を構築するなどして、取り組みを推進する。
12	自然資源を活用した持続可能なかつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	資源ごみ（ペットボトル・キャップ、発砲スチロール、容器ブラ）の回収量	2019年4月780.98 トン	2022年845 トン	2022年780 トン	108%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
13	自然資源を活用した持続可能なかつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	漂着ごみ回収活動の実施回数	2020年2月306 回	2022年511 回	2022年305 回	168%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
14	自然資源を活用した持続可能なかつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	漂着ごみ回収活動の参加人数	2020年2月4,253 人	2022年6,560 人	2022年4,242 人	155%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
15	自然資源を活用した持続可能なかつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	住民 1 人 1 日当たりのごみ排出量（生活系ごみ）	2020年2月671 g	2022年724 g	2022年665 g	92%	当初値より増加しており、第2期計画では3 R 推進のため周知を行い、目標達成に向け推進を図る予定。
16	自然資源を活用した持続可能なかつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	事業系ごみの排出量	2020年2月11,512 トン	2022年9,019 g	2022年13,373 トン	148%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
17	自然資源を活用した持続可能なかつ強靱で競争力のある観光を実現するため、自然環境保全と資源管理を進めるとともに、環境負荷を軽減する	C O 2排出量	2016年10月40.5 万 t - C O 2	2022年32.9 万 t - C O 2	2022年36.2 万 t - C O 2	177%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
18	SDG s を共通言語とした連携・協力等による良質なくらしの創造	石垣市と S D G s の取り組みを通して繋がった国の数	2020年2月3 ヶ国	2022年10 ヶ国	2022年6 ヶ国	233%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。
19	SDG s を共通言語とした連携・協力等による良質なくらしの創造	S D G s をテーマとして開催された会議数	2020年2月2 件	2022年13 件	2022年12 件	110%	目標を達成しており、第2期計画でも引き続き取り組みを推進する。

2020年度

第 1 期SDGs未来都市計画（2020～2022）の進捗評価結果報告シート（様式3-2）

沖縄県石垣市 第 1 期 S D G s 未来都市計画：計画期間2020年～2022年

（3）三側面ごとの取組の達成状況（自治体 S D G s モデル事業又は特に注力する先導的取組）

No	取組名	取組内容	指標名	当初値	2022年	2022年（目標値）	達成度（%）	第2期計画（または独自計画）の KPIへの反映状況
1	【経済】 ①-1 石垣 S D G s 認証制度構築・運用事業	【取組内容】 石垣 S D G s 認証制度構築・運用事業	全事業所数に対する石垣 S D G s 認証を取得する事業所数の割合	2020年2月 0 %	2022年度 0 %	2022年度 3 %	0%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、目標達成へ向け取り組みを行う予定。
2	【経済】 ①-3 地域産品のブランディング促進事業	【取組内容】 地域産品のブランディング促進事業	従業者数	2016年6月 19,879 人	2022年度 19,177 人	2022年度 21,261 人	-51%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、引き続き取組を推進していく。
3	【経済】 ①-3 地域産品のブランディング促進事業	【取組内容】 地域産品のブランディング促進事業 地産地消推進事業	農産物の生産額	2016年度 3,003 百万円	2022年度 3,182 百万円	2022年度 3,237 百万円	76%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、目標達成へ向けて引き続き取り組みを推進する。
4	【社会】 ②-1 次世代育成支援事業	【取組内容】 I C Tを活用した離島における専門人材育成事業	石垣市が主催する初等中等教育の拡充に資するプログラム受講者のうち就業に至った人数	2020年2月 23 人	2022年度 17 人	2022年度 27 人	-150%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、目標達成に向けて安定的な講座の継続を行いながら、周知・普及の推進を行っていく。
5	【社会】 ②-1 次世代育成支援事業	【取組内容】 八重山ミンサー後継者育成事業	文化保全教育プログラムの作成・実施数	2020年2月 13 件	2022年度 27 件	2022年度 15 件	700%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、継続して取り組みを行う予定。
6	【社会】 ②-2 八重山 M a a S 推進事業	【取組内容】 観光客向け八重山 M a a S 事業の継続実施	総人口に占める公共交通域内人口の割合	2020年2月 63.6 %	2022年度 データなし	2022年度 68.9 %	データなし	数値の算出が難しく、データなしとしている。第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、正確な数値を把握できるよう調整していく。
7	【社会】 ②-3 エンパワメント推進事業	【取組内容】 女性団体ネットワーク協議会に対する S D G s 推進勉強会	女性コミュニティによる S D G s 関連活動の参加者数	2020年2月 200 人	2022年度 0 人	2022年度 400 人	-100%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、目標達成へ向け継続して取り組みを行う予定。
8	【社会】 ②-4 インフォーマルセクター向けプラットフォーム構築事業	【取組内容】 多文化共生事業「多文化交流ゆんたく会」	在留外国人と地域住民との意見交換会の実施回数	2020年2月 2 回	2022年度 1 回	2022年度 3 回	-100%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、目標達成へ向け継続して取り組みを行う予定。
9	【社会】 ②-5 包摂的貧困削減対策事業	【取組内容】 ひとり親家庭生活支援モデル事業	金融教育を受けた貧困・生活困窮者の人数	2020年2月 0 人	2022年度 2 人	2022年度 16 人	13%	目標達成度が低く、第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、別の手法により推進を図る予定。
10	【環境】 ③-1 サンゴ礁保全対策等推進事業	【取組内容】 赤土等流出防止対策事業	赤土流出防止対策の実施延長	2020年2月 3898 m	2022年度 5256.6 m	2022年度 3000 m	175%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、継続して取り組みを行う予定。
11	【環境】 ③-1 サンゴ礁保全対策等推進事業	【取組内容】 サンゴ礁、マングローブ林の保全活動に関する支援。補助等	サンゴ保全教育を実施した学校数	2020年2月 8 校	2022年度 8 校	2022年度 11 校	0%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、今後は実施体制を構築するなどして、取り組みを推進する。
12	【環境】 ③-2 海洋プラスチックごみ対策事業	【取組内容】 海岸漂着物分別収集運搬処分業務	資源ごみ（ペットボトル・キャップ、発砲スチロール、容器プラ）の回収量	2019年4月 780.98 トン	2022年度 844.95 トン	2022年度 780 トン	108%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、継続して取り組みを行う予定。
13	【環境】 ③-2 海洋プラスチックごみ対策事業	【取組内容】 海岸漂着物分別収集運搬処分業務	漂着ごみ回収活動の実施回数	2020年2月 306 回	2022年度 511 回	2022年度 305 回	168%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、継続して取り組みを行う予定。
14	【環境】 ③-2 海洋プラスチックごみ対策事業	【取組内容】 海岸漂着物分別収集運搬処分業務	漂着ごみ回収活動の参加人数	2020年2月 4,253 人	2022年度 6,560 人	2022年度 4,242 人	155%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、継続して取り組みを行う予定。

沖縄県石垣市 第 1 期 S D G s 未来都市計画：計画期間2020年～2022年

No	取組名	取組内容	指標名	当初値	2022年	2022年（目標値）	達成度（%）	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
15	【環境】 ③-3 3R促進事業基本計画策定事業	【取組内容】 3R促進事業基本計画策定事業	住民1人1日当たりのごみ排出量（生活系ごみ）	2020年2月 671 g	2022年度 724.3 g	2022年度 665 g	92%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、目標達成へ向け3Rの周知を行い、推進を図る予定。
16	【環境】 ③-3 3R促進事業基本計画策定事業	【取組内容】 3R促進事業基本計画策定事業	事業系ごみの排出量	2020年2月 11,512 トン	2022年度 9,019 トン	2022年度 13,373 トン	148%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、継続して取り組みを行う予定。
17	【環境】 ③-4 再生可能エネルギー導入推進事業	【取組内容】 再生可能エネルギー導入推進事業	C O ₂ 排出量	2016年10月 40.5 万 t -CO ₂	2022年度 32.9 万 t -CO ₂	2022年度 36.2 万 t -CO ₂	177%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、継続して取り組みを行う予定。

（４）三側面をつなぐ統合的取組の達成状況（自治体 S D G s モデル事業又は特に注力する先導的取組）

No	指標名	当初値	2022年実績	2022年目標値	達成度（%）	第2期計画（または独自計画）のKPIへの反映状況
1	【経済→環境】【環境→経済】全事業所数に対する石垣 S D G s 認証を取得する事業所数	2020年2月 0 %	2022年度 0 %	2022年度 3 %	0%	目標達成度は低いが運用等について検討を進めている。第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、目標達成へ向け取り組みを行う予定。
2	【環境→経済】観光客数	2020年2月 1,471,691 人	2022年度 908,728 人	2022年度 1,500,000 人	-1989%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、引き続き取組を推進していく。
3	【経済→社会】【社会→経済】【環境→社会】有効求人倍率	2019年11月 1.8	2022年度 1.47	2022年度 1.8	82%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、引き続き取組を推進していく。
4	【社会→環境】C O ₂ 排出量	2016年10月 40.5 万 t -CO ₂	2020年度 32.9 万 t -CO ₂	2022年度 36.2 万 t -CO ₂	177%	第2期計画ではモデル事業として取り上げないため記載しないが、引き続き取組を推進していく。

（５）第 1 期SDGs未来都市計画の進捗評価結果を踏まえた総括

●特筆すべき事業内容 ・(1)-1、(2)-1、(3)-1、(4)-1：全事業所数に対する石垣SDGs認証を取得する事業所数の割合：認証制度の運用には至っていないが、認証制度構築に向けた第一歩として石垣市におけるSDGsに関する情報を発信・共有し、会員同士の連携や意見交換を通じて、地域課題の解決や新たな事業創出のきっかけとなる「いしがきSDGs推進プラットフォームサイト」を構築した。 ・(1)-2、(2)-2、(3)-2、(4)-2・3：従業者数、観光客数、有効求人倍率：コロナ禍の影響を受け、減少はまだ見られるが、3つの項目すべてにおいて2021年度との比較では回復傾向である。 ・(1)-3、(2)-3、(3)-3：農産物の生産額：地産地消推進事業に取り組んでおり、学校給食に地場産品の食材を取り入れ、提供している。農産物の生産額は寒冷及び長雨の影響で低い結果となった。 ・(1)-6、(2)-4、(3)-4：石垣市が主催する初等中等教育の拡充に資するプログラム受講者のうち就業に至った人数：減少しているが、受講者の合格率はこれまで30%前後であったところが、50%に至る結果であった。今後は安定的な講座の継続を行いながら、周知・普及の推進を行い、受講者の増加を図る。 ・(1)-9、(2)-7、(3)-7：女性コミュニティによるSDGs関連活動の参加者数：算定数値としてあげている「まるざーフェスティバル」は隔年開催であり、令和4年度は未開催のため実績は0人となっているが、本市の女性コミュニティをまとめる石垣市女性団体ネットワーク会議による交流会・勉強会を実施している。 ・(1)-10、(2)-8、(3)-8：在留外国人と地域住民との意見交換会の実施回数：市内のコロナウイルスのり患状況を考慮しながらの意見交換会となった。コロナ禍の影響が収束しつつあるため、活性化を図っていく。 ・(1)-11、(2)-9、(3)-9：金融教育を受けた貧困・生活困窮者の人数：第2期計画では社会面における貧困削減対策施策を重点的に行っている事業者・NPO・プロジェクトによるSDG s 認証制度への登録数を包括的貧困削減のKPIとして変更した。これにより活動に対する人々の関心を高め、持続可能な活動につなげていく。 ●成果 ・環境に関する指標は概ね達成された。 ・住民一人当たりのごみ排出量は当初値よりは増加しているものの、現状を概ね維持できた。 ・石垣市3R推進計画の取組により、漂着ごみ回収活動の実施回数や参加人数が増加し、住民の環境に対する意識の向上が認められた。 ・次世代育成支援事業では目標を上回る成果が得られ、文化保全につながった。 ・赤土等流出防止補助事業では、大幅に目標値を超える成果を達成し、河川環境や海域環境の保全に貢献した。 ●課題 ・SDGs認証制度の進捗が初期段階であり、意見交換等の活性化を図り、制度設計を本格化させる必要がある。 ・寒冷及び長雨の影響で農産物の生産額が減少しており、レジリエントな農業生産体制の構築が必要である。 ・総人口に占める公共交通域内人口の割合はバス停から半径300mの円を設定した中で、その円に少しでもかかる250mメッシュ内人口を活用しているため、数値の算出が難しく、データなしとしている。正確な数値の把握に向けて調整が必要である。 ・コロナ禍の影響が収束しつつある中で、社会活動の活発化に伴い環境との共生が課題になると考える。 ・経済、社会に関する指標はコロナ禍の影響により目標未達成のものが多数あり、今後は外部的要因にどう対処するかを検討する必要がある。 ●今後の展望 ・「いしがきSDGs推進プラットフォーム」会員を募り、企業や団体間の連携を深め、活動促進を図っていく。
--

（６）有識者からの取組に対する評価

・普及啓発事業など一定の取組が見られるが、他自治体へのモデルとなるものとしては、コロナ禍の影響もあり、全体的に滞っているという印象である。プラットフォームに関しても情報発信や連携という枠組みの話だけでなく、具体的な参加だ団体のメリットへとつながるものを検討いただきたい。 ・社会・経済面での未達成項目が多いため、第 2 期計画では、現状や見通しを改めて整理し、現実的な目標と指標を検討していただきたい。特に本計画では「石垣SDGsプラットフォームの活用による課題解決モデル」構築がメインであるはずであるため、その取組を加速していただきたい。
--